

YMCA News



日和田リニューアルプロジェクト～これからのキャンプを考える～

東海学園大学スポーツ健康科学部／日和田委員会 委員長 **井澤 悠樹さん**

2022年、名古屋YMCAは創立120周年を迎えました。このことは、これまでの本紙の中でも多くの方が触れられているように皆さんもご存知のことかと思えます。1902年当時の設立趣意書には「社会の現状を観察し来れば青年会の必要は多言を要せずして明なり」と記されていたようです（詳しくは、YMCA News No.762(2021)の中村総主事の寄稿を参照）。120年の月日をかけて、人と交わり、自然と交わる中で当時の想いを紡ぎ続けてきたことと推察致します。

加えて、来年2023年には名古屋YMCA日和田キャンプ場も40周年を迎えます。名古屋YMCA設立当初の想いを体現する重要な拠点として、多くの青少年の葛藤と成長を促し、見守り、時として課題を提供し続けてきてくれたように思います。皆さんの中にも、日和田キャンプ場に対して溢れんばかりの想いがあるのではないのでしょうか。このような名古屋YMCAに関わる全ての方にとって重要な場である日和田キャンプ場を、次の100年に繋ぐための事業として「日和田リニューアルプロジェクト」が始動しています。

この「日和田リニューアルプロジェクト」は、名古屋YMCA120周年事業の一環として、現役リーダー、リーダーOBOG、ワイズメンズクラブ、キャンプ場利用者、名古屋YMCAスタッフの有志によ



開設39年のYMCA日和田高原キャンプ場

て組織されています。40年の歴史を大切にしつつ、老朽化によって制限される活動が生じないよう新たな日和田キャンプ場への再生を目的としています。ただしリニューアルといっても、昨今注目されているレジャーキャンプ施設のような、全てが整っており、何不自由なく生活できる場にするということではありません。自然に身を委ねながら生活する「不自由の中の自由」を大切に、そして、これまで以上に人と人が交わり、自然によって育まれる場としての日和田キャンプ場を目指します。今年1月に開催された120周年記念式典の中で、本プロジェクトの記念募金への協力依頼をさせていただき、多くの方から大切な想いが届けられています。一方で、結果として大きな変化（リニューアル）を実現することができないかもしれません。しかしながらこれを機に、日和田キャンプ場に想いを馳せ、次世代を担う若人にとって、そして皆さんにとって大切な日和田キャンプ場とはどのような場なのかを皆さんと共に考える時間になることを願っています（とは言いつつも、多くの方に募金に協力いただきたいというのが本音です…）。

また、これまで日和田キャンプ場は、主に青少年育成の場として利活用されてきましたが、昨今の社会情勢を鑑みると、キャンプという場が決して青少年のみに必要とされる場ではないように感じなりません。大人、家族、組織…、どのような社会的カテゴリーにおいても「自分とは何者か」を改めて理解し、どのように人と向き合っていくのかを再定義し続けていく必要があるように感じます。そういう意味でも、リニューアル後の日和田キャンプ場は、青少年に限らない多種多様な人を受け入れ、何者でもない自分と出会い、そして他者に思いを寄せる場になることを願っています。

先人たちによって守られ、育まれてきた日和田キャンプ場を、次は皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っています。名古屋YMCA日和田キャンプ場、第二幕のスタートです。

募 金 使 途



1 すべての子どもたちに
自然体験を



2 ユースリーダーの育成



3 自然の中で家族がつながる



4 様々な世代の活躍と交流

振 込 先

三菱UFJ銀行（普通）きよなみ支店
1117960
公益財団法人名古屋YMCA

新人職員・スタッフ紹介

公益財団法人 名古屋YMCA



名古屋YMCA本館
坂口 愛海



南山ファミリーYMCA
安東 寿人



南山ファミリーYMCA
坂本 美穂



発達サポートつるさと
平 真輝

学校法人 名古屋YMCA学園



南山幼稚園
小浦 佑真



南山幼稚園
鳥山 絵梨乃



南山幼稚園
渡邊 晶子



YMCAかみさわ保育園
飯沼 結愛



かりやYMCA保育園
山口 朋楓



かりやYMCA保育園
振屋 夏葵



かりやYMCA保育園
水野 かきつ



かりやYMCA保育園
永田 春香



かりやYMCA保育園
桐原 りずむ



かりやYMCA保育園
馬場 美菜子



かりやYMCA保育園
小林 紗希



かりやYMCA保育園
山本 有美



かりやYMCA保育園
山中 香奈



かりやYMCA保育園
板井 裕美



かりやYMCA保育園
吉光 美佳



YMCAこひつじ保育園
平田 裕理

募 金

YMCAのウクライナ避難民支援状況

世界が一変した2月24日のウクライナ侵攻後、YMCAでは世界のネットワークを活かし、避難民支援活動を行っています。また、日本YMCA同盟では「ウクライナ緊急支援募金」を日本全国のYMCAと協働して実施しています。頂いた募金は、ヨーロッパ諸国のYMCAと連携し、以下の使途に用いています。

(1) 日本への避難を希望するウクライナの方、ご家族等の呼び寄せを希望される日本在住の方に、出国から来日までのトータルなサポートとケアを行います。ウクライナから近隣諸国への移動、ビザの申請、



出国、渡航チケットの手配・費用の支援、来日後の生活のサポートを、一人ひとりの不安や希望を聞き取り、近隣YMCAや関係団体と協力しながら行います。



(2) ウクライナYMCAが行う、爆撃地や攻撃を受ける可能性のある居住地域から国内避難する人々への支援活動を行います。ウクライナYMCAは国内25拠点を有して、宿泊場所提供、食品、衣類、医薬品、衛生製品を提供しています。また、恐怖心・トラウマを抱える子どもと若者に、心理的、社会的な緊急サポートを行います。

(3) ウクライナ近隣諸国のYMCAが行う、国外に避難するウクライナの人びとへの緊急生活支援のために用います。

名古屋YMCAでは、NPO法人日本ウクライナ文化協会と協働し、避難民支援を行っています。ウクライナ侵攻によって失われた一人ひとりの尊い生命、当たり前だった生活を突然奪われ避難民となった人々を思うと胸が痛みます。一刻も早く、ウクライナの人々に平安が訪れることをお祈りし、募金活動等の支援を継続していきます。

(広瀬 謙一)



日本YMCA同盟の寄付サイトが5月から継続運営されます。

「日本YMCA同盟ウクライナ緊急支援募金特設ウェブサイト」<https://srv.asp-bridge.net/ymca/privacy/7>

※または本館・南山窓口募金箱にて受け付けています。

総主事コラム

常盤木落葉(ときわぎおちば)

4月、新しい年度が始まりました。私事ですぐ2年振りに幼稚園に戻り、毎朝「おはようございます」と、登園してくる園児と保護者に挨拶をする日々を過ごしています。ウイズコロナの日本では、マスクと手指消毒が続いており正門でのシュッシュッ、ゴシゴシ(意味がわかりますか?)が日常会話となっています。自宅から歩いてくる園児の小さな手の中には、春に芽吹いた草花や、なぜか人気のダンゴムシが握りしめられ、生命の循環を感じさせてくれます。また朝一番にご近所さんと一緒に、落ち葉を掃き集める日常が「平和」を感じさせてくれるのも、今も悲惨な戦争が愚かな指導者によって繰り返されているからでしょう。

一年中、青々と茂る「常緑樹」、日本では古くから永遠の若さの象徴として「常盤木(ときわぎ)」とも呼ばれていますが、実は4月から6月にかけて、新葉と入れ替わり落葉する木と、秋にかけて少しずつ入れ替わる木があります。落葉広葉樹の多くは秋にかけて紅葉し、その役目を終えて落ち葉となるので良く知られていますが、実は今の季節も緑色の落ち葉がたくさんあります。新しい命のために、その役割を終えるまだ緑色の落葉。古木となり朽ち折れた園庭のグミの木の根元からは、新しい幹が伸び、花が咲いて、実を結ぶ準備をしています。身近な自然にじっくりと目を向けると、本当に多くの命の誕生に気づきます。だからこそ、世界中の人々の大切な生命が尊重されることを願ってやみません。

(中村 隆)

報告

春休み特別プログラム



志賀高原ダイナミック



クラフトキッズ



スプリングジュニア



アクティブデイキャンプ



spring intensive



維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員(継続) (2022年3月30日～2022年4月26日)

義井 裕子	加藤 明宏	福田 義正	黒田 忠嘉	黒田 邦子	小谷 治郎	小谷 充子
山本 伸彦	渡邊 信子	服部 千秋	Olson Kikuchi 三恵	岩瀬 康彦	下村 徹嗣	
下村 展子	桐山 潤	桐山 恵子	黒柳 麻琴	嶋崎 英子	金 智重	三井 大登
三井あゆみ	西村 清	西村 牧子	白木 直美	小島とよ子	山本 和子	田中 万寿
山崎 聖子	牧野 和博	神野 啓子	浅井 秀明	三牧 勉	深谷 朗子	橋爪 良和
橋爪 圭子	小林 滋記	山口 一雄	平井 真希			

賛助会社(継続) 丸丹スポーツ用品株式会社

寄付金

(ウクライナ緊急支援募金)

義井 裕子 木村眞智子 川本 龍資 匿名有志(各館募金箱)

(名古屋YMCA創立120周年記念募金)

村山 盛芳 黒柳 麻琴 山口 幸子 松井 克巳 牧野 和博 山崎 聖子 赤津機械株式会社

ワイズコーナー 5月例会の予定

早天祈祷会

名古屋	5月10日(火) 19:00～	卓話「日和田キャンプ場リニューアルプロジェクトについて」 講師：名古屋YMCA中村隆総主事	名古屋YMCA (ZOOM併用)	5月10日(火) 7:45～8:30
名古屋東海	5月12日(木) 18:45～	卓話例会 講師：中原勇一氏(昇竜館館長)	ラ・スース	名古屋YMCA 5Fチャペル
名古屋南山	5月8日(日) 10:00～	農場例会(玉ねぎ収穫)	南山農場	奨励：日本福音キリスト 教会連合栄聖書教会
名古屋 グランパス	5月21日(土) ～22日(日)	京都東稜クラブとの合同例会	京都	高野 望牧師

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227


<https://nagoyaymca.org>
名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2022年度聖句

「主に望みを置く人は新たな力を得
鷲のように翼を張って上る。」
(イザヤ書40章31節)